

【南西地域への陸自警備部隊等の配置に伴う施設整備】

- 自衛隊配置の空白地域となっている島嶼部への平素からの部隊配備は極めて重要との考えの下、南西地域の防衛体制の強化のため、陸自警備部隊等の配備を目的とした施設の整備。
- 南西地域への陸自部隊配備は、与那国島への沿岸監視部隊等、奄美大島、宮古島及び石垣島への警備部隊等の配備を行うものであり、駐屯地等の新設を行っているところ。

現状・課題 「南西地域への陸自警備部隊等の配置に伴う施設整備」は決められた部隊配備時期が設けられた遅延の許されない事業であることから、離島特有の厳しい条件下でも適正かつ円滑な事業推進を実現する必要がある。
 その目的を実現するため、施設整備に関する様々な取組（建設現場における取組・適切な離島等の建設工事における遠隔地からの労働者確保に要する費用の積算・情報共有システムの活用・建設現場における遠隔臨場の試行・局監督官用タブレットの活用）を行うとともに、本事業における入札の競争性を確保する取組については、工事の大型化や分離など発注ロットの検討、また、参入業者ランクの拡大等や競争参加資格の緩和を図ることで、より多数の応募者を期待できるようにするなど、競争性拡大の取組に向けた対応を行っている。

